

平成19年度行政評価(平成18年度実施計画事業)

No.	事業名称	所属名称	事業説明	事業指標	H18年度 決算額 (単位:千円)	事業 の 必要 性	事業 の 優先 性	事業 の 経済 性	事業 の 有効 性	事業 の 公平 性	合計	評価結果の具体的理由	仕分け 結果	評価結果
201	消防団活性化事業	消防総務課	地域防災の中核を担う消防団の活動環境の改善や団員の高齢化対策として、青年層や女性団員の入団を促進し、消防団の活性化を推進するとともに、消防団の充実・強化を図った。 消防団活動雨衣を555着購入した。	消防団員に対する 被服の改善 555着	6,993	4	3	3	3	3	16	消防団の活動環境の改善に努め、消防団の充実・強化を図ることが出来たため。		完了
202	消防団施設整備事業	消防総務課	消防団施設の土地の公有化を図り、耐震性を有する鉄骨造の建物とすることにより、地域の防災拠点にふさわしい消防団施設とした。 鉄骨整備数 1施設	鉄骨化した棟数 18棟	27,751	4	3	3	4	3	17	地域住民に密着した消防団の信頼と安心感の確保および、消防団員の活性化を図るため、継続していく必要がある。		継続
203	消防車両整備事業	消防総務課	消防車両の更新基準及びNOx、PM法適用車両を更新し、火災等から市民の生命、身体及び財産の保護が図られた。	新規配備及び 更新整備した台数 7台	166,299	5	3	3	4	4	19	消防・救急活動を実施するために欠かせない事業であり、今後発生が懸念される特殊災害に備えるためにも継続していく必要があるため。		継続
204	消防水利整備事業	消防総務課	大規模地震における火災発生時の消火活動には防火水槽は有効な消防水利となることから、今後においても計画的に設置する必要がある。	耐震性を有する 防火水槽整備数 2基	27,378	4	3	2	4	4	17	震災時の有効な消防水利確保のため、今後も継続して事業を実施する必要がある。		継続
205	防火意識啓発事業	予防課	消防フェスティバル、防火管理講習会などを開催し、火災予防の意識高揚を図るとともに、事業所等における防火管理体制の充実を図った。 ・防火ポスターの募集(496人) ・自衛消防隊消火競技会(76人) ・立入検査実施数(1,291件) ・少年少女消防教育(40人) ・消防フェスティバル(3,500人) ・新入社員等防災体験研修会(85人) ・防火管理講習の開催(年4回 358人)	防火管理講習 受講者数 358人	3,253	4	4	3	4	4	19	住宅用火災警報器の普及・促進については、特に既存住宅の設置実態等を把握した中で、市民への認知度を向上させるために広報等を充実させるなど、継続して実施する必要があるため。		継続
206	消防資器材整備事業	厚木消防署	空気呼吸器用ポンベの軽量化、消防備蓄品などの整備・充実を図り、複雑多様化する災害に対処できるようになった。 空気呼吸器用ポンベ更新数 34本 消火薬剤購入量 600	ポンベの軽量化数 34本	8,694	5	5	4	4	5	23	空気呼吸器用ポンベについては、高圧ガス保安法により耐用年数(15年)の更新本数は不可欠である。 また、消火薬剤については、災害時の使用は当然であるが訓練使用にも必要であり、継続とする。		継続